

第2回 大垣市次世代育成支援行動計画策定評価委員会 会議録

日 時 平成21年9月30日(水)

13:30~15:30

場 所 市役所3階 合同委員会室

1. 会議次第

- (1) 前期行動計画(平成20年度実績)について
- (2) 子育て推進条例について
- (3) 後期行動計画概要について
- (4) 今後の予定について

2. 出欠席等の状況

- (1) 出席委員:13名(敬称略)

所 属	職 名	氏 名
岐阜経済大学	経営学部教授	竹内 治彦
大垣女子短期大学	図書館長兼教育センター長	矢田貝 真一
大垣市医師会	会長	山川 隆司
大垣市子ども会育成連絡協議会	書記	三代 広子
大垣民間保育園連合会	(きど保育園園長)	安田 民代
大垣私立幼稚園連合会	(大垣幼稚園主事)	岩田 和行
大垣市民生・児童委員協議会	主任児童委員会会長	古川 政子
大垣市PTA連合会	母親代表	長瀬 ちえ子
NPO法人くすくす	理事長	安田 典子
大垣商工会議所	専務理事	成瀬 重雄
連合岐阜西濃地域協議会	副議長	堀場 貴仁
公募委員		平野 幸子
公募委員		林 幸子

※欠席なし

(3) 事務局：6名

加藤 悦子（子育て支援部長）

林 幹雄（子育て支援課長）

木村 あけみ（子育て支援課対策官）

鈴木 裕子（子育て支援課対策官）

佐竹 裕樹（子育て支援課庶務係長）

吉安 正和（子育て支援課企画庶務係）

(4) その他参加者：1名

井川 俊二（㈱エディケーション：計画策定支援業務委託事業者）

(5) 傍聴者：1名

### 3. 議事

(1) 前期行動計画（平成20年度実績）について

事務局：資料説明

資料1-1 次世代育成支援行動計画について

資料1-2 主な事業の目標 達成計画

資料1-3 進捗状況等一覧表

委員： 特定保育は行わないのか。

事務局： 現状において利用実績がないことから、一時保育の充実で対応していきたいと考えている。

委員： 一時保育には一時保育の機能があるのではないか。

事務局： 国においては、パートなどで1か月に満たない場合は特定保育で行うという定義があるが、大垣市は14日を超える場合通常保育で預かっているため、特定保育の必要がない。通常保育と一時保育で吸収していきたい。

委員： 保育料の負担軽減について、決算額が0となっているのに、進捗度が計画より進んでいるというのはどういうことか。

事務局： 保育料を軽減することは歳入が減少することであり、歳出は伴わないので0とした。

委員長： 委員会の提言としては、計画の進捗状況については順調であるものの、遅れて

いる事業については、前期計画内に目標が達成できるよう努力されたいとしてよろしいか。

(異議なし)

委員長： そのように決定します。

## (2) 子育て支援推進条例について

事務局： 資料説明

資料2 (仮称) 大垣市子育て推進条例について

委員： 条例案に「〇〇の日」を設けるとあるが、「家庭の日」があるのに、新たにつくるのか。市民からすれば、同じもののように感じる。

事務局： 「家庭の日」のほかに、大垣市独自のものを打ち出してはどうかということから、このような案をつくった。既存の日を活用するののも一つの案だと思う。

委員： 条例名は、子育て推進条例とするのか、子育て支援推進条例とするのか。子育てを推進するのと、子育て支援を推進するのでは、意味合いが少し違うように感じる。

幼保園・保育園・幼稚園の役割について、子育て支援を推進するという立場であれば、子どもを指導・支援するだけでなく、子育て家庭を支援するということをもう少し明確に入れてはどうか。

また、次世代育成支援行動計画の大きな柱としては、今まで、いろいろな機関で行ってきた子育て支援を一つにまとめようという趣旨であったと思うが、この中にどのように盛り込まれていくのか。

事務局： 仮称として大垣市子育て推進条例としているが、条文を含め、市民にわかりやすい言葉にしたいと考えている。また、支援については、各家庭、地域、幼保園・保育園・幼稚園・学校、事業者の役割の中で、その関係を位置づけたい。

計画の一本化については、条例で、役割やおおまかな理念を定め、各部署の計画については推進計画の中で進めていこうと考えている。

委員長： 条例があるかないかで何かが変わらない限り意味がないと思う。

事務局： 次世代育成支援計画が10年の時限立法であるため、10年後においても、子育て支援について進めていきたいということで推進体制を盛り込もうと思っている。条例のもとに、会議を設置して計画を策定し、その進捗管理等を行っていくという宣言をしたい。その後、わかりやすい事業の事例を載せるという考えを

もっている。

委員長： 「〇〇の日」については、案の中では8月8日が一番良いと思う。

委員： 8月8日は、夏休み期間中でもあり、取り組みやすい。

委員： 水まつりと重ねて行うのも覚えやすい。

委員： 「〇〇の日」を決めた場合、市として何か事業を行うのか。

事務局： 何か行うべきと考えている。取組みについては、例示したものだけにこだわっているわけではない。何かよい案を思いつかれたらご連絡いただきたい。

委員： 趣旨の中に「市民が協働し、…」とあるが、市民が協働するとはどういうことか。また、条例は市の法律であるという意味合いをもつ中で、市民がつくったのか、行政主導でつくったのかという位置付けがわかりにくい。家庭の役割については、第一義的な役割とあるが、現在の家庭がそのような位置付けとなっているのか疑問である。幼保園・保育園・幼稚園・学校の役割として、子どもを指導・支援とあるが、指導・支援では子育て家庭を応援するということにはならないと思う。役割を明確にする文章としてほしい。拡大解釈をしやすい文章と思う。

委員長： 条例イメージの概要図について、家庭と市民、地域、幼保園・保育園・幼稚園・学校の役割が並列となっている構造については疑問がある。少し整理した方がよいと思う。

事務局： 具体的な条例案については、次回に提示させていただくので、ご審議いただきたい。

### (3) 後期行動計画概要について

事務局： 資料説明

資料3-1 大垣市の現状

資料3-2 子育て支援サービスの現状

資料3-3 大垣市子ども数推計

資料4-1 (仮称)大垣市子育て支援推進計画(概要)

資料4-2 後期計画と前期計画の体系比較

委員長： 推進計画についてご意見を賜りたい。

委員： 基本目標2内の文言で「特に支援を必要とする家庭への支援」というのは、今の状況をととても反映している。基本目標として位置づけられたことは、おおいに期待できると感じた。基本理念の「協働」という文言に関しては誰が協働するの

か疑問である。

基本目標1で保育士等の資質・専門性の向上について、新規で掲げていただいたのは喜ばしい。働く女性が増えている中、子どもだけでなく、親も含めた子どもを取り巻く環境について、保育士の専門性を高めていただけるとありがたい。

基本目標2にある子育て総合支援センターの設置については、子育ての不安解消だけではなく、特に支援を必要としている家庭への支援を視野に入れてほしいし、就学前の家庭のみではなく、学齢期までを視野に入れた総合支援センターとしてほしい。

委員： 基本目標1の「2 学校教育の充実」について新規事業が多い。

事務局： 教育委員会において、大垣市教育振興基本方針を現在作成中であり、整合性を図りながら計画に盛り込んでいきたいと考えている。

委員： 基本目標3の「1 小児医療等の充実」について、現在の大垣市の医療体制がどのようになっているのかわからない。今後、具体的にどれくらい充実されるのか。また、医療だけでなく、予防に関する支援を盛り込む必要はないのか。

委員： 木・土・日曜日の6～9時に市民病院で医師会が行っている事業と急患医療センターが、小児医療の充実にあたると思う。

夜間診療については、コマ数を増やすことを西濃地域の小児科にも依頼をしており、体制としては進んでいると思う。ただし、医師の負担が大きいので、緊急性がない場合は通常の診療時間に受診してもらうということも周知してほしい。開設している時間帯等を広報等で周知して、必要な場合に受診していただければと思う。

医療費の無料化については、必要のない受診はしないということを意識づける必要がある。休日診療・夜間診療は緊急の場合のみとしないと、本当に必要な人が医療を受けられなくなるし、医療費のむだ遣いにもなる。

また、中高生の健診結果により、再検査を受けた場合の費用の助成はできないか。

委員： 親が子どもに寄り添える状況を作るのが第一であり、子どもの幸せという視点からどんどん離れていくように感じる。働く人のための支援ばかりで、懸命に自分で子どもを育てようとしている人になぜ目を向けないのか。どうしたら、親が働かなくてもよい状況になるかということも考えてほしい。

委員長： 出生率については、経済状況が密接に関係しており、経済的支援の効果が高い

のではないかと思う。

(4) 今後の予定について

- ・ 第3回委員会 10月26日（月） 13:30～15:30  
議題 条例・後期計画審議 など
- ・ 第4回委員会 11月6日（金） 13:30～15:30  
議題 条例・後期計画審議 など
- ・ 第5回委員会 1月29日（金） 13:30～15:30  
議題 条例・後期計画審議 など